

JDBA : 審判テキストブック《第5版》主要改正・改訂項目一覧

平成21年10月24日
日本ドッジボール協会
《競技委員会》

★『赤文字』表記部 ⇒ 主要改正項目および改訂項目

【全般】

一般財団法人 日本ドッジボール協会 ⇒ (追加)

【表紙】

《2009 - 2010 年度版》 ⇒ (追加)

【もくじ】

第1章 チーム	プレイヤーの交代(メンバーチェンジ)
第6章 審判員 副審	副審の留意点
第8章 プレイの規定	外野プレイヤーがアタックを成功しても内野に復帰できない条件
第8章 プレイの規定	ファールの重複、他
第8章 プレイの規定	指導 ⇒ (追加)
主審、副審、線審の動作	24
補足・追加事項	ライン際でのインプレイゾーン及びボールデッドゾーンの解釈
補足・追加事項	ジャンプボール時のトス(ボール)アップの高さについて
『掲載順』	<div style="display: flex; align-items: center;"> 第4版(第9章) : 「テクニカルファール」 ⇒ 「ファール等の重複、他」 <div style="margin: 0 10px;">↓</div> 第5版(第9章) : 「ファールの連続・重複、他」 ⇒ 「指導」 ⇒ 「テクニカルファール」 </div>

【第1章 チーム】

スターディングラインナップ 2) ~、3セット目は、ペナルティーベンチや負傷によりベンチに~

プレイヤーの交代(メンバーチェンジ)

【第4章 罰則】

《例》

警告 → 危険行為、重大なマナー違反(イエローカード及びテクニカルファール)

2) ~。主審から「退場」を宣告された者は速やかに~

【第5章 ゲームオフィシャル】

- 5) 計時員は、大会により、ランニングタイム制と実働制があるので確認しておくこと。
- 6) 計時にデジタルタイマーを使用する場合で、試合終了時のブザー音が小さく~
- 7) ~5秒前からカウントダウンを行い、試合終了と同時に笛により終了の~

【第6章 審判員】

【審判員の心得】

- 3) ~、各々が自分の職務分担に則って行動し判定する。

【審判員の事前チェック】 《チームに対し》

(2) 滑り止めと判断されるもの、グローブ、その他

【主審】 2) ~、警告、退場、失格を宣告できる。

〔主審は全てのファールを判定する〕 ※外野プレイヤーのオーバーライン、ホールディング、外野エリアでの～～アウト・オブ・バーンズ、外野プレイヤーのワンタッチ等は主に線審の～

〔主審の留意点〕 (4) ~、ボールデッド時(アウト・オブ・バーンズ、ファール)はボールの支配権を指示した～

〔主審の留意点〕 (5) 試合終了と同時に終了の動作を行うことが出来るよう、～

〔副審〕 〔副審の留意点〕

〔線審〕 〔ワンタッチプレイの確認〕 ※ 手でボールに触れた後、他の部位に触れてアウト・オブ・バーンズになった～

〔その他〕 (3) ~、従来のノータッチ動作に加え旗を持たない手で胸に手を置く動作を行い、～

【第7章 競技方法】

オフィシャルタイムアウト 2) ~。その時は、副審、線審の笛の鳴り始めがボールデッドで、それを受けた主審の合図で～

オフィシャルタイムアウト時の計時の処理

《例②》 《処置》 アウトのプレイはインプレイであり、線審の笛の鳴り始めがボールデッドであり、それまでに～

《例③》 ~。このアウトのプレイヤーが線審の笛までに相手内野プレイヤーを当てた。

オフィシャルタイムアウト後のボールの支配権

2) ~オフィシャルタイムアウトを取った時は、ボールデッド時、保有していたプレイヤーとする。

オフィシャルタイムアウト時のボールの保有権

【第8章 プレイの規定】

アシストキャッチ(第805条) (3) アシストキャッチがヘルドボールの時、アシスト成立とする。

アシストキャッチ(第805条) 《例③》 ~内野プレイヤーがレシーブ(パンチング)をして味方内野プレイヤー、又は～

アシストキャッチ(第805条) 《例③》 《処置》 イリーガル・スローでAチーム内野ボール。

アシストキャッチ(第805条) 《例④》 ~Bチーム内野プレイヤーを妨害(危険行為・重大なマナー違反)したため～

アシストキャッチ(第805条) 《例④》 《処置》 アシスト成立。Bチーム内野プレイヤーセーフ。

アシストキャッチ(第805条) 《例④》 《処置》 テクニカルファールでBチーム内野ボール。

外野プレイヤーがアタックを成功しても内野に復帰できない条件

(4) (~ボールの移動が止まった状態等、ボールデッドのタイミングがありながら、～

ジャンプボール ④ ジャンパー・アタック ⇒ (追加)
ジャンパーがタップした後、捕球した内野プレイヤーは、相手チームのジャンパーを第1投目で攻撃してはならない。

ジャンプボール ⑤ インターフェア ⇒ (追加)
ジャンプボール後の内野からの第1投目を、ジャンパーは妨害をしてはならない。

試合再開 ~ (計時員は、この合図により計時を開始する。[実働制の時])

試合再開時の審判の留意点 (1) ~プレイヤーが、自分のポジション(エリア)に戻ったかの確認。

試合再開時の審判の留意点 (3) ボールを所持したプレイヤーの、ボールアップの確認。

【第9章 反則(ファール)】

〔ヘッドアタック時の処理〕

1) ヘッドアタック時の招集権限は主審にあり、場合によって副審に招集の指示を委ねる事ができる。招集指示を委ねられた副審は、線審を含めた5審で協議の上、その結果を集約し主審に伝える。なお、主審の判定が確定している～

【ヘッドアタック時の処理】	4) 緊急プレイヤー の交代については、協議時間を含め1分～ ⇒ (「EP」削除)
【ファールにならない3条件】	注② ~、またボールを取らなくてもアウト・オブ・バーンズや相手エリアの~
インターフェア	2) 内野復帰権を得た外野プレイヤーが、自チームの内野エリアに復帰する行為で、ボールデッドゾーンより空中でボールを捕球(ジャンピングキャッチ等)し、復帰(自内野エリア内に着地)した場合、このファールを適用する。 ⇒ (追加)
インターフェア	3) ジャンパーが自エリア内に移動中に、妨害行為を行った場合も第1投目が成立するまでは、このファールを適用する。 ⇒ (3)へスライド)
ジャンパー・アタック	【適用除外】 2) タップされたボールが直接アウト・オブ・バーンズとなり、内野から~
アウトプレイ	3) ~、またアウトを取った外野 プレイヤー が内野への移動時に、~
イリーガル・スロー	【内野プレイヤーがボールを弾いた場合】 (1) そのボールを 味方内野 プレイヤー及び 味方外野 プレイヤーがキャッチした時。
イリーガル・スロー	【外野プレイヤーがボールを弾いた場合】 (1) そのボールを 味方内野 プレイヤー及び 味方外野 プレイヤーがキャッチ 又は手でボールタッチ した時。
イリーガル・スロー	【外野プレイヤーがボールを弾いた場合】 (3) そのボールを相手内野プレイヤー及び 相手外野 プレイヤーがキャッチし、~
イリーガル・スロー	【外野プレイヤーがボールを弾いた場合】 注② 外野プレイヤーが手でボールを弾いたあと、 味方外野 プレイヤーがキャッチした~ ※ この場合、ボールを弾く状況及び行為、又は軌道を適切に 判断すること 。
イリーガル・キャッチ	注① ②その行為にてBチームプレイヤーが落とした時
イリーガル・キャッチ	注② ③~、トスによりボールを 弾き 上げ、他の味方プレイヤーに~
ファールの連続・重複、他	(1) ファール が連続してあった場合は、最初のファールを適用する。~
ファールの連続・重複、他	(2) ファール の判定で各審判員で異なった場合は、審判員を招集して~ (主審は必要に応じてコートマスターに、助言を求めることができる。~
ファールの連続・重複、他	(3) ファールの重複 とは、同時に発生したファールに対し各審判員の判定が異なり、その判定が支配権判断に影響を及ぼす(支配権の獲得チームに相違が生じる)ケースのことを指す。この場合、重い方のファールを適用する。尚、最も重いファールはテクニカルファールとする。 ⇒ (追加)
指導	⇒ (追加)
	(1) スポーツとして確立するために、すべての関係者がマナーを守ることは重大である。 従って、その任にあたる各審判員は、 軽度なマナー違反 に対して状況に応じ、 プレイヤー及び監督等 に 指導 することができる。
	(2) 改善されない場合には、テクニカルファールの対象となる。
テクニカルファール	(1) 試合中に於ける、 プレイヤーの危険行為 や 重大なマナー違反 とは、次の様な場合を指しイエローカードによる、「警告」の対象となる。 ① 失礼な態度で、審判及びオフィシャルに話しかけたり、触る。 ② 無作法にふるまう。 ③ 相手のプレイヤーを、威嚇したり、挑発したりする。 ④ ボールデッド時に試合の再開を不當に遅らせ、ゲームの進行を妨げる。 ⑤ 不当な利益を得ようとしてプレイヤーズゾーンを離れる。 ⑥ 審判及びオフィシャルの判定や指示に従わない。 ⑦ スポーツマンシップから著しく逸脱した言動が見受けられる。 ⇒ (追加)
テクニカルファール	(2) 試合中に於ける、 監督及び控えのプレイヤーの危険行為 や 重大なマナー違反 とは、次の様な場合を指しイエローカードによる、「警告」の対象となる。 ① 失礼な態度で、審判及びオフィシャルに話しかけたり、触る。 ② 無作法にふるまう。 ③ 相手のプレイヤーを、威嚇したり、挑発したりする。 ④ 審判及びオフィシャルの許可なくベンチを離れる。

① ~ ⑥
|
ルールブックより移行

① ~ ⑤
|
ルールブックより移行

- ⑤ 審判及びオフィシャルの判定や指示に従わない。
 ⑥ スポーツマンシップから著しく逸脱した言動が見受けられる。 ⇒ (追加)

アドバンテージ	~各審判員は、ファールがあつた時すぐに笛を吹き ポールデッド にするものと、ファールがあつた~
アドバンテージ	※ 笛の使い方 ① ※ 上記は全て、 ポールデッド である。
アドバンテージ	※ 笛の使い方 ③ 試合終了の笛「ピッピーッ」
アドバンテージ	※ 笛の使い方 ③ タイムアップ ⇒ (削除)

【主審・副審・線審の動作】

- 1) アウトのジェスチャー **掌**を床面に対して垂直にし、~

【主審の詳細手順】

- (2) ① 両手の**掌**を床面に対して垂直にし、前方に伸ばし「集合」のコールをする。

- (5) 主審は、試合終了時、**試合終了**の笛「ピッピーッ」を吹く。 ⇒ (追加)

【補足・追加事項】

- イリーガル・スローについて ① ② **味方**チームの外野プレイヤーからのボール

- 内野への復帰について 事例 ~。主審がオフィシャルタイムアウトをとる間に〇番がボールに触れた。

- ジャンプ**ポール**時のトス(**ポール**)アップの高さについて **トス(ポール)**アップの高さは、背の高い方の~

【審判統一基本動作と役割】【I 主 審】

- 1) ① ファール・オフィシャルタイムアウト・**アウト・オブ・バーンズ**の試合を止める長い笛

1) ③ **試合終了**の笛

- | | |
|------------------|---|
| 1. アウト | ・手の動作 掌 を床面に対し垂直とし、当該プレイヤーを指す。 |
| 2. オフィシャルタイムアウト | ・手の動作 ~高さより上付近)で、左(右) 掌 に 右(左) 手指先を~ |
| 2. オフィシャルタイムアウト | ・コール ☆ ボールの 保有権 及び支配権を把握する。また、 デジタル タイマーが停止しているか確認する。 |
| 3. 試合終了 | ・手の動作 両腕を垂直に上げ、左右の 掌 は内側を向ける。 |
| 5. アウト・オブ・バーンズ | ・コール ☆ 第808条の1) ①から③のときに行う。 |
| 9. タイムイン | ・手の動作 ボールの 保有権 がある側の腕を垂直に上げ、~ |
| 11-4. タッチ・ザ・ボディー | ・手の動作 ~同じ前向き)、タッチ・ザ・ボディーの動作を続けて行う。 |
| 11-4. タッチ・ザ・ボディー | ・動作順序 ~状態から、上腕を床と 平行(水平) に前方に伸ばす。 |
| 11-7. ヘッドアタック | ・ ポールデッド 安全確認のための「オフィシャルタイムアウト」を~ |

【III 線 審】

- 2) ジャッジについて

- ① ジャッジの際、**旗**は主審方向に向け、確認があるまで下ろさない。

- 3) オフィシャルタイムアウトについて

- ② ~タイムアウト要求する場合は、**旗**を扇状に振りながら笛を吹き鳴らしコートに入る。「**ピーッ**」「**タイム**」

- 4) **旗**の持ち方・使い方

- ① **旗**の柄の部分を中指・薬指・親指で握り、**人差し指**は柄に平行に添える。小指は**旗**の端を挟み、ジャッジする場合には離す。

※ **旗**の仕様により異なる

5) 線審の動作

1.ワンタッチ

・手の動作 右(左)手に握った旗を頭上に上げ、旗の先端部に～

2.-1 ノータッチA

① 外野プレイヤーがボールタッチすることなく、アウト・オブ・バーンズに～

2.-1 ノータッチA

② ～手以外の身体の部位に触れて、アウト・オブ・バーンズになった場合。

2.-1 ノータッチA

・手の動作 右(左)手に握った旗を天に垂直に上げる

2.-2 ノータッチB

① ～、他の部位に触れてアウト・オブ・バーンズになった場合。

2.-2 ノータッチB

・手の動作 右(左)手に握った旗を天に垂直に上げると共に、一方の掌を胸におく。

3.ファール [①動作の無いもの]

・手の動作 ファールを犯したプレイヤーに向って旗を指す。

3.ファール [②動作の有るもの]

・手の動作 ファールを犯したプレイヤーに向って旗を指し、ファール～

3.ファール [②動作の有るもの]

・笛 「ピーッ」長く（手の動作）と同時に～ ⇒（「先の」削除）

【IV ゲームオフィシャル】

1) 記録員

① 記録用紙の作成

1) 記録員

④ 記録用紙への記載

2) 計時員

① スタート／ストップのタイミングに留意すること。

2) 計時員

③ ・笛 「ピーッ」（着席した状態でよい）

2) 計時員

④ **デジタル**タイマーを使用しない場合
デジタルタイマーを使用しない場合はストップウォッチ～
～片手（試合終了時の内野人數報告の「五」）を上げ、
カウントダウン（試合終了時の内野人數報告の「五」
⇒「一」の順）～試合終了時に笛（「ピーッ」）で合図する。